

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	こども広場ちくたく			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 家庭	(回答者数)	4 家庭
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の現状や課題など成長に合わせた支援計画の作成、見直しを行っている。	小さな変化を見逃さないよう日々の朝夕礼で情報共有し支援を行っている。現状や発達の状況に応じて適宜アセスメント、モニタリングを実施し計画に反映させている。	児童発達支援管理責任者を中心としてより良い支援とは何か考え、実践していく。 研修参加など職員のスキルアップを行いながら支援の質を高めていく。
2	イラストレーターを招いてのアートセラピーなど活動に特色を持たせている。	職員だけでなく外部講師を招くなど事業所の特色を持たせた活動内容を企画、実施している。	引き続き楽しみながら多くの事を学び、成長につなげられるよう活動を企画・実施していく。
3	全員が保育士、児童指導員資格を有し、5年以上の実務経験がある職員配置が出来ている。	個別・小集団・全体活動と状況に合わせた支援を行っている。	より専門的な支援が出来るよう職員間での情報共有、振り返りをおこないながら、方向性の取れた支援を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園・保育所・児童クラブや地域のこどもと関わりを持つ機会が持てていない。	それぞれの機関の活動時間、内容などが異なり時間が合わせにくい事、事業所を利用しているお子様が新しい場所や人など環境の変化により負担が掛かったり不穏になってしまう可能性を考慮した中で現状交流の実施には至っていない。	お子様の特性などを考慮しながら交流の必要性について検討していく。
2	契約時、計画説明時に各種マニュアルの説明は行っているが、訓練の実施内容など保護者へ周知に至りにくい現状がある。	マニュアルを策定、訓練を実施しているが、訓練の詳細など保護者様への説明、報告方法が十分でなかった。	送迎時や連絡帳でお伝えする他に必要に応じてお知らせを配布し訓練内容、実施について説明を行っていく。 安全計画の説明、ホームページへの掲載など周知方法を検討していく。
3	保護者様向けの研修が実施できていない。	開催日時、内容など実施へ向けての取り組みが出来ていなかった。	市町村や関係機関から保護者様向けの研修があれば周知していく。 事業所主催の研修の実施について検討していく。